2025/5/26
東アジア資金部 ソウル室 +82-2-3782-5859

先週のマーケット動向(5 月 19 日～5 月 23 日)

為替、株式

	Open	High	Low	Close	Chg
USD/KRW	1,395.1	1,401.3	1,371.8	1,375.6	▲14.0
JPY/KRW	9.6106	9.6698	9.5654	9.5871	+0.020
KOSPI	2,613.70	2,633.41	2,588.09	2,592.09	▲34.78

(Source: SMBS, Bloomberg)

先週のドル/ウォン相場は下落。週初のドル/ウォンは1,395.1ウォンでオープン。米国の格下げを受けてドル売りが拡大するも、リスク回避の動きから次第にウォン売りが拡大し1,400ウォン台に上昇した。20日にはG7財務省・中銀総裁会議を控え、米国によるドル安誘導を警戒し上値重く推移。米減税法案による米国の財政悪化を懸念し米金利が上昇し、ドル売りが拡大する動きにドル/ウォンも下落推移が続いた。週末にかけて米金利の上昇には一服感が見られたものの、ドル/ウォンは上値重い推移が続き、前週末比▲14.0ウォンの1,375.6ウォンでクローズした。(韓国時間15：30)

* USD/KRW chart (source: Bloomberg)

* JPY/KRW chart (source: Bloomberg)

今週の見通し

今週のドル/ウォンは週後半にかけて反発を予想。米国のEUに対する関税賦課を受けて関税政策への懸念が再燃、米国の財政不安もドル相場には重しとなり、今週についてもこれら懸念が高まればドル売りが拡大しドル/ウォンが一段と下落する可能性も想定される。一方で、EUへの関税については約1か月の適用延期が合意されたこと、安値圏では輸出勢によるドル買い意欲が強まると想定されること、29日のBOK会合では利下げの可能性が意識されることから、下値拡大余地は限定的で、週後半にかけてドル/ウォンは反発を試す展開を予想する。

USD/KRW	JPY/KRW	USD/JPY
1355 ～ 1385	9.40 ～ 9.70	142.0 ～ 145.0

今後の予定

27日(火) 欧 5月 消費者信頼感指数 確報値
米 4月 耐久財受注 速報値
米 5月 カンファレンスボード消費者信頼感指数
28日(水) 米 FOMC議事録
29日(木) 米 5月 失業保険新規申請者数
米 1Q GDP 二次速報
韓 BOK 政策金利発表
30日(金) 米 5月 ミシガン大消費者マインド指数 確報値
日 4月 鉱工業指数 速報値
日 4月 失業率
日 5月 東京都区内CPI
米 4月 個人所得
米 4月 個人消費

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようにお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。